

# 観光推進組織の役割と 地域特性に応じた観光振興

2018年6月16日(土) 13:00～

大野町総合町民センター ふれあいホール

岐阜県揖斐郡大野町黒野990番地 岐阜バス・名阪近鉄バス「大野バスセンター」より徒歩1分

入場無料  
【申込不要】  
定員600名

「道の駅パレットピアおおの」「東海環状自動車道(仮称)大野・神戸インターチェンジの開通」を機に、平成30年を大野町の「観光元年」に位置付け、記念シンポジウムを開催し、基調講演やパネルディスカッションを通じて、大野町や周辺地域全体の魅力や広域観光を推進する意義を考える。

12:30 開場・受付開始

13:00 開会 司会：平松 亜希子(フリーアナウンサー)

開会挨拶 大野町長 宇佐美 晃三



13:10～14:20

## 第1部 基調講演

テーマ：地域資源を活かしたまちづくりの進め方

講師：藻谷 浩介(もたに こうすけ)氏

現職：(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員、

日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問、

特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク 理事長

学歴：東京大学法学部卒(1988年)、コロンビア大学経営大学院卒(1994年)

山口県生まれの53歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外90ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体、里山資本主義(KADOKAWA)、金融緩和の罠(集英社)、しなやかな日本列島のつくりかた、和の国富論、観光立国の正体(共に新潮社)、世界まちかど地政学(毎日新聞出版)など。



© 青木優佳氏

14:20～14:30 休憩

14:30～15:40

## 第2部 パネルディスカッション

テーマ：インターチェンジ開通や道の駅オープンなどを活かした  
これからのまちづくりと広域観光振興について

コーディネーター：藻谷 浩介氏(もたに こうすけ)

パネリスト：古賀 学氏(こが まなぶ) 松蔭大学観光文化学部教授

内閣府・国土交通省「観光カリスマ選定委員会委員」

国枝慎太郎氏(くにえだ しんたろう) 岐阜県議会議員

平松亜希子氏(ひらまつ あきこ) フリーアナウンサー

宇佐美晃三(うさみ こうぞう) 大野町長

